

Art Festival

170 組の若手クリエイターが大集結！ノンジャンルのアートフェスティバル

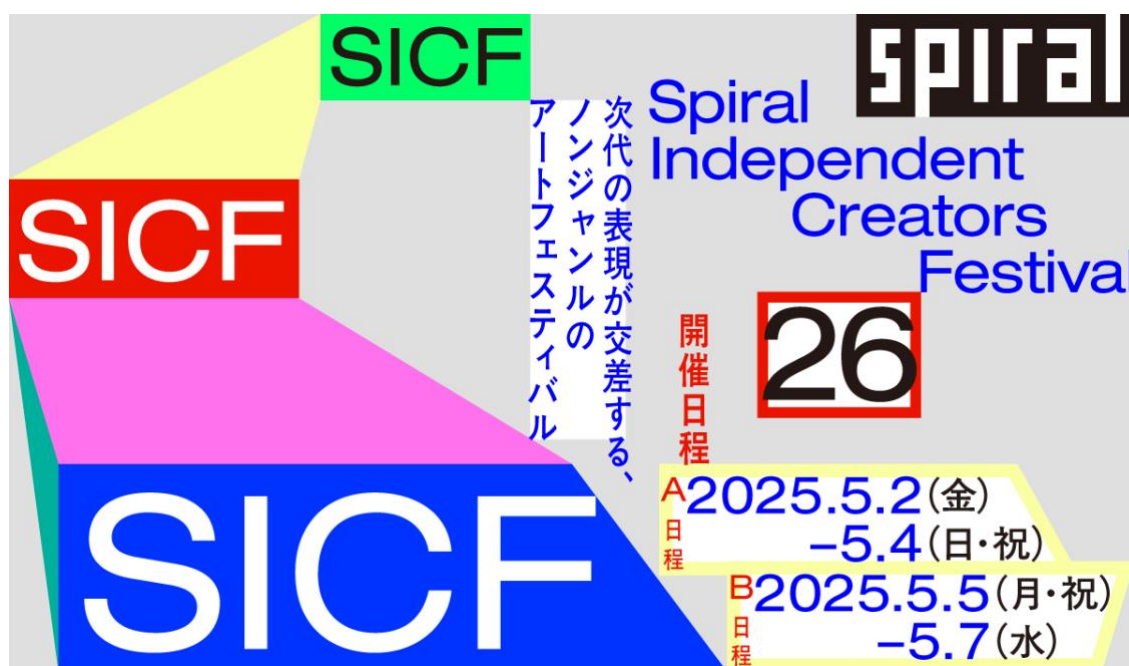
SICF26

 第 26 回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル

会期：A 日程 2025 年 5 月 2 日（金）－ 4 日（日・祝）

B 日程 2025 年 5 月 5 日（月・祝）－ 7 日（水）

会場：スパイラルホール（スパイラル 3F）、スパイラルガーデン（スパイラル 1F）



スパイラルは、さまざまなジャンルのクリエイター170 組による公募展形式のアートフェスティバル「SICF26（第 26 回 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）」を、2025 年 5 月 2 日（金）－ 7 日（水）に開催します。

SICF は、「生活とアートの融合」を掲げるアートセンター「スパイラル」が、2000 年から継続的に開催しているアートフェスティバルです。若手作家の発掘・育成・支援を目的として、EXHIBITION 部門（100 組）と MARKET 部門（70 組）の 2 部門で開催。ジャンルの制限も、年齢の制限もなく、公募によって選出された多彩なクリエイターが一堂に会し、作品展示やプレゼンテーションを行います。会期の最終日には、グランプリ、準グランプリ、各審査員賞のほか、来場者の投票によって決まるオーディエンス賞や、もっとも作品を売り上げたクリエイターに贈られるベストセールズ賞等の各賞を優秀作品に授与します。既存の価値観にとらわれず、新たな時代をひらくクリエイターたちがゴールデンウィークのスパイラルに集います。現代を生きる若手作家の熱気と創造性に満ちた「SICF26」へどうぞお越しください。

この機会にぜひご取材・ご掲載の検討の程、よろしくお願いいたします。

■掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

アート事業部 コミュニケーション担当 三田 穂積、宮下 恵梨子

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail：press@spiral.co.jp / web サイト：<http://www.spiral.co.jp>

SICF SPIRAL INDEPENDENT CREATORS FESTIVAL **spiral**

EXHIBITION 部門 100 組 出展者決定！



EXHIBITION 部門 A 日程 Tapetum 作品

〈 A 日程：2025年5月2日－4日 〉

Aoi Honjo/Academimic/伊勢崎 陽太郎/おおはら みゆ/おか こうき/片岡 真紘/川畑 那奈/木澤 航樹/北田 杏実花/久保田 泰智/倉持 至宏/Koichiro Kojima/KOYO NAKAMURA/東風 快斗/後藤 馨介/小室 茉莉/近藤 唯士/齊藤 まつり/坂本 倫久/DAISUKE SAWAI/Sheena/清水 愛恵/紙脈/正元 嶺至/SHOTA MIYASHITA/白石 衆/Tania Herman/Tapetum/陳 燦宇 Shuoyu Chen/陳 干/pascal/初 英佳/はらだ ひまわり/番 あかね/hiraco/平松 高児/平山 慎也/藤原 彰大/Futaba Nozoe/Makoto Morita/Masaki Hagino 萩野 真輝/峯村 瑠一/三好 風太/山川 敦史/山崎 結以/山西 なつ美/YURIAJURIA/余湖 雄一/Lily Onga/和田 祐香



EXHIBITION 部門 B 日程 ララン 作品

〈 B 日程：2025年5月5日－7日 〉

青山 莉緒/JaeHee LEE/市丸 蓉/岩田 直樹/Euihyeon Nam/ウラン/大内 麻紗子/岡 サオリ/小沢 和葉/小野寺 絢美/熊坂 美友/後藤 夏希/Kotone Muto/近藤 ののか/齋藤 ナギ/榊原 昌和/SASAMANA/砂糖 塩り/嶋田 絢子/SHOTO KOHAGURA/NEHZ/杉本 篤/園田 こ春/TAIKI/高梨 大/田上 万豊/角田 圭史/DING JIANXIN/月月/Nadia Olefir/鍋梨 世知/NAHN NAHN/西廻 公貴/春田 美咲/藤原 正和/細貝 麻衣/解けて離れる絵/美貴恵/mishmash/村野 雄飛/ムレイティ アントニー/山本 圭太/Julia Zyubyairova/Yoko Zaikawa/yooolk/reverth shoes/林 文萱/rintsu mori/わやたに/ワンシユ

MARKET 部門 70 組 出展者決定！



MARKET 部門 A 日程 Borcheln の記憶 作品

〈 A 日程：2025年5月2日－4日 〉

earthlogic/AOI SAITO×MAREES/ADAPTO/アトリエ栞雨/atelier minori/iracchi/いわほりゆえ/inch/UMIOTO/エノモトフミオ/OVAL OBJS/奥田 紀佐/川端デニム製作所/Shigemasa Tanaka/Shida Manami/ジョン ミンギョン/素数/高木 愛菜/chise/tubo tubo/Nandaka/羽山 加奈子/bamb.design パンプデザイン/piñata/HIROMI YAMAMOTO/Blaquish/Bornholm の記憶/mäisa/MIKA HAGA/MUSAKUI/Memi Shoda/mol/YOUEON/RING YUFU/Reiko Egawa ceramic works



MARKET 部門 B 日程 ricolle 作品

〈 B 日程：2025年5月5日－7日 〉

apsis/アワモト ノノ/ichinose naomi/伊藤 愛香/umu/ofuton/GIKYOKU/KiChi/THE made in mix/Saito Yuna/Saki stained glass/chiffon glass/植積-shokuseki/SILVER/Studio Riposo/Suwa Oki/Solecode/竹内 萌夏/tanji/toricolle/HARUNA AOKI-SUPER FANCY LOVE POP-/Piatto/hito/kata/flacte/floribunda/vea/マツウラ カオリ/水のかたち/mitsu/mm/Moe Glass Style/Mori Hiroe/Rin Yanagihara/ROSS/Long Nagai

開催概要

名称 SICF26 (第 26 回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)

会期 EXHIBITION 部門

A 日程 : 2025 年 5 月 2 日 (金) - 4 日 (日・祝) 11:00 - 19:00 [50 組]

B 日程 : 2025 年 5 月 5 日 (月・祝) - 7 日 (水) 11:00 - 19:00 [50 組]

*各日程の初日、5 月 2 日 (金) と 5 日 (月・祝) は 13:00 スタート。

MARKET 部門

A 日程 : 2025 年 5 月 2 日 (金) - 4 日 (日・祝) 11:00 - 19:00 [35 組]

B 日程 : 2025 年 5 月 5 日 (月・祝) - 7 日 (水) 11:00 - 19:00 [35 組]

会場 **EXHIBITION 部門** スパイラルホール (スパイラル 3F)

MARKET 部門 スパイラルガーデン (スパイラル 1F)

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B1、B3 出口すぐ

チケット EXHIBITION 部門

チケットは入場受付で販売のほか、オンラインでも販売いたします。

[一般] 1,000 円 (税込)

[平日割引*] 800 円 (税込)

[A・B 共通券*] 1,500 円 (税込)

[学生*] 無料

*平日割引券は 5 月 2 日 (金) もしくは 7 日 (水) のみ入場可能。

*A・B 共通券は、A 日程・B 日程の各日程 1 日ずつ入場可能。

*学生は学生証を提示のうえ、SICF 公式 SNS いずれかへのフォローで無料。

オンラインチケット

ArtSticker にてチケットを販売します。

販売期間 : 2025 年 4 月 9 日 (水) 13:00~5 月 7 日 (水) 18:30

MARKET 部門

入場無料

審査員 EXHIBITION 部門

(敬称略) 金澤韻／キュレーター
舘鼻則孝／アーティスト
山城大督／美術家・映像作家
山田紗子／建築家
加藤育子／スパイラル キュレーター

MARKET 部門

白本由佳／アートディレクター、グラフィックデザイナー
鈴木啓太／PRODUCT DESIGN CENTER 代表、デザイナー、クリエイティブディレクター
氷室友里／テキスタイルデザイナー
西村直子／スパイラル 販売部 商品課 課長 統括バイヤー

顕彰 EXHIBITION 部門

グランプリ (1 点)、準グランプリ (2 点)、各審査員賞 (4 点)、スパイラル奨励賞 (1 点)、
デイリーアート賞 (1 点)、オーディエンス賞 A 日程 (1 点)、オーディエンス賞 B 日程 (1 点)

MARKET 部門

グランプリ (1 点)、準グランプリ (1 点)、各審査員賞 (3 点)、ベストセールス賞 (1 点)

*顕彰数は変更する場合があります。

受賞者発表 2025 年 5 月 7 日 (水) 20:00 (予定)

*但し、オーディエンス賞、ベストセールス賞は 5 月 8 日 (木) に発表する予定です。

お問い合わせ先 03-3498-1171 (スパイラル代表)

SICF Web : <https://www.sicf.jp>

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

協力：CLIP、株式会社ステージフォー

グラフィックデザイン：田部井美奈

Exhibition

SICF25 EXHIBITION 部門 グランプリアーティスト展

Mona Sugata

「Tree of life -A planet of playing beings 遊ぶ生命たちの星-」

会期：2025 年 5 月 10 日（土）－ 25 日（日）

スパイラルを地球という星に見立て、空間いっぱいに広がる有機的なインスタレーション
ひとひら、ひとひら、手で生み出された布の植物が遊び、息づく壮大な「生命の樹」



Mona Sugata
SICF25 グランプリ展 EXHIBITION 部門
「Tree of life -A planet of playing beings 遊ぶ生命たちの星-」 出展作品（一部）

スパイラルは、昨年 5 月に開催したアートフェスティバル「SICF25」EXHIBITION 部門において出展者 100 組の中からグランプリに選ばれたアーティスト、Mona Sugata による個展を開催します。

Mona Sugata は多摩美術大学で版画を学んだのち、ジュエリーの文字彫り職人などを経て、2020 年頃からヨーロッパの服飾文化に見られる伝統的なコテを使った布花を中心とする、現在のシリーズを展開。不滅の生命力を象徴する植物、花々、雑草などをモチーフに布や陶を用いて、古来より身近に息づいてきた畏敬の存在への「祈り」のシンボルをつくり出しています。SICF25 の出展作《Tree of Life》は、「生命の樹」という普遍的な題材でありながら、ひとつひとつの布パーツをコテで加工して生まれる有機的なフォルムと独特の表情、それらを組み合わせて展示空間に広がる奇妙な生命感、大きな空間で表現を拡張できる発展可能性が評価され、グランプリを受賞しました。

本展では、スパイラルを象徴する吹き抜け空間（アトリウム）を地球という星の縮図と捉え、高さ 7m の壮大なインスタレーションに挑戦。星に息づき、遊ぶように変異・進化し、つながりを持って生きている私たちの景色としての「生命の樹」を創出します。

「想像力は樹木である。想像力の樹はやがて宇宙の木となり、世界を含みこみ、作り上げる」と哲学者の G・バシュラールが語ったように、Mona Sugata が手作業で生み出す草花たちは、様々な災害や困難を乗り越え、命をつなげたいと願うあらゆる生きものの祈りと、それを表現しようとする人類の根源的な想像力と創作意欲を改めて伝える強さに溢れています。東京・青山で、エネルギーが交わる「生命の樹」。ぜひご期待ください。

■掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

アート事業部 コミュニケーション担当 三田 穂積、宮下 恵梨子

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail：press@spiral.co.jp / web サイト：<http://www.spiral.co.jp>

SICF SPIRAL INDEPENDENT CREATORS FESTIVAL spiral

過去作品



Mona Sugata 《Tree of life》
SICF25 EXHIBITION 部門 グランプリ 受賞作品
Photo: TADA(YUKAI)



Mona Sugata 《midday moon》

SICF25 審査員コメント

山城大督／美術家・映像作家

本作を目にした瞬間、この手で触れたいと思った。何か自分の中にない、〈智〉を知りたい、〈経験〉をしたいという感情に近いものだろう。いま私たち人類は、この地球の生態系の中で、あまりにも自己中心的な行動を行ってきた歴史について再考する時代を生きている。布を素材とする植物を模したこの造形物に、人々は無形の思いや願いを込めるだろう。そんな余白を持つ作品に、大きな可能性を感じた。この作品が持つ力の、さらなる発展を見たい。



Mona Sugata

1983 年東京都生まれ。2009 年多摩美術大学絵画専攻版画研究領域博士前期課程修了。

古来から続く“生命としてのわたしたち”として、植物、虫、人間などあらゆる生き物の繋がりや流れを見つめ、いのちを繋いでいく営みの強さや美しさを、花や葉を組み合わせシンボリックに表現する。

受賞歴に、「SICF25」 EXHIBITION 部門グランプリ。主な出展歴に、個展「GRASSLAND」(2024/FALL /東京)、企画展「Sunlight in windows」(2023/AOYAMA HÜTTE/東京)、「Green Constancy」(2024/六本木蔦屋書店/東京)、「ART SESSION」(2024/銀座蔦屋書店/東京)など。

【同時開催】SICF25 EXHIBITION 部門 受賞者展



成山 亜衣
《out of focus # 2024-5》



村松 英俊
《camera》

グランプリアーティスト展と同時開催で SICF25 EXHIBITION 部門の受賞者 10 名が作品を展示します。
スパイラルが選出する、新たな時代をひらくアーティストの表現にぜひご注目ください。

参加アーティスト：

成山 亜衣（準グランプリ）、村松 英俊（準グランプリ）、八木 温生（金澤韻賞）、楊 脩遠／YANG XIUYUAN（舘鼻則孝賞）、市川 大翔／electrode（廣川玉枝賞）、Shintaro IMATANI × NS（山城大督賞）、小島 平莉（スパイラル奨励賞）、福留 春菜（デイリーアート賞）、青木 咲美（オーディエンス賞 A 日程）、コトブキレイ（オーディエンス賞 B 日程）

出展者一覧



成山 亜衣 | Ai Nariyama 準グランプリ

1983 年大阪府生まれ。2009 年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程版画専攻修了。実態がなく浮遊感のある記憶の像を、物質感のある絵具を使い、動きのない平面に例えるというスタイルで絵画を制作している。

主な受賞歴に、「metasequoia kyomachibori Art Fair 2023」家入一真賞・高橋キンタロー賞受賞、「シェル美術賞 2020 アーティストセレクション(SAS)2020」（中井康之審査委員推薦）など。



村松 英俊 | Hidetoshi Muramatsu 準グランプリ

1988 年静岡県生まれ。2014 年京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）美術工芸学科立体造形コース卒業。2016 年東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻彫刻領域修了。モノや道具など既製品の一部を大理石などの石に置き換え、モノの一部が石化した、あるいは石がモノの形に物化したイメージの作品を制作している。生活の中にあるモノや道具の歴史に悠久の時を刻む。

主な個展に、「time」（2024/CANDYBAR GALLERY/京都）など。「マツモト建築芸術祭」（2023/長野）などの芸術祭にも参加。



八木温生 | Haruo Yagi 金澤韻賞

栃木県出身。2021 年武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業、2023 年武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻彫刻コース修了。

ものをつくることと、つくられ出たものを現象として観察するためのメディアとして、プロトタイプ製作、彫刻、物語等を用いる。

主な受賞歴に「清水多嘉示賞」（2021）、「ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2023」入選、グループ展に「実験の星」（2022/HIGURE17-15cas/東京）など。



楊 脩遠 | YANG XIUYUAN 館鼻則孝賞

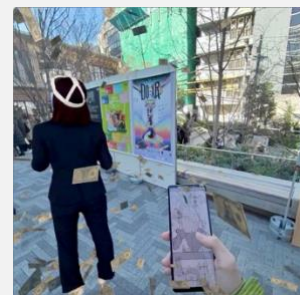
1995 年中国安徽省生まれ、2024 年東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了、2025 年同大学大学院美術研究科デザイン専攻博士後期在籍。自然の力を基盤に、自然に内在するさまざまな要素を創作の源泉として取り入れ、平面、立体、空間を横断する多様な作品を制作。SICF25 では日々の天候を和紙に写しとる《雨の群像》を発表した。主な受賞歴に、「NewOne Awards 2024」銅賞、「東京TDC 賞 2025」入選、「GRAPHIC DESIGN IN JAPAN 2024」入選など。



市川 大翔（electrode） | Taisho Ichikawa 廣川玉枝賞

1991 年東京生まれ。早稲田大学社会科学部卒業。ネオン管の特性を活かした作品制作やバーナーワークを手がけ、近年では吹きガラスの技法も応用したネオン作品の制作に取り組んでいる。日本有数のネオン管技工士に認定され、ネオンサイン技術の継承にも携わる。「光をメディウムとする表現」「手工芸の技術」を軸に、光が生み出す情緒性と光を支える科学技術の双方にアプローチしている。

主な受賞歴に「Brillia Art Award 2024」入選、「LUMINE meets ART AWARD 2020-2021」オーディエンス賞など。



Shintaro IMATANI × NS 山城大督賞

Shintaro IMATANI と NS のユニット。SICF25 では XR 技術をマンガに応用し、コマ割りを空間で体験しながら世界観に没入できる《Spatial Comic》を発表。

- ・ Shintaro IMATANI：豊田工業大学工学部卒業後、メーカー勤務を経て 2021 年 情報科学芸術大学院大学[IAMAS]博士前期課程に入学。以降、XR コンテンツの制作を始める。主な受賞歴に「アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA」学生/エンターテインメント（産業応用）部門大賞(2021)
- ・ NS：実写 3D（ポリュメトリック）のコンテンツを使った XR チーム。「TOKYO NODE XR HACKATHON 2023」ファイナリスト



小島 平莉 | Heiri Kojima スパイラル奨励賞

2001 年神奈川県生まれ。2025 年現在、多摩美術大学大学院美術研究科修士課程デザイン専攻テキスタイルデザイン領域在籍中。個人的な体験を起点に、他者と共有できる社会的な事柄をテキスタイルアートを通じて再考する。

主な受賞歴に、「Artists in FAS 2023」選出、「多摩美術大学卒業制作優秀作品」選出（2023）など。



福留 春菜 | Haruna Fukudome デイリーアート賞

1995 年鹿児島県生まれ。2020 年鹿児島大学教育学研究科芸術・スポーツ学コース工芸領域修了。陶芸における「焼き付ける」という行為を表現の主軸にしており、現代の記録媒体とヒトの刹那的な感情の対比をテーマに制作している。

主な受賞歴に、「different 京町堀アートフェア」佐藤由基孝賞（2024）、「鹿児島陶芸展」県知事賞（2018）など。



青木 咲美 | Aoki Sakura オーディエンス賞 A 日程

2004 年東京生まれ。2025 年現在、女子美術大学プロダクトデザイン専攻在籍中。

「有機物である生物と無機物である稼働機が融合した、新たな生命体を生み出す」をコンセプトに学業の傍ら作品群を製作。SICF25 では《アンモナイト型潜水艇》と《トンピ型レシプロ機》を発表。紙製と思えぬ精巧な作りが話題を呼ぶ。主な受賞歴に「JOSHIBISION 2022」100 周年記念大村文子基金女子美美術奨励賞など。



コトブキレイ | Rei Kotobuki オーディエンス賞 B 日程

1996 年茨城県生まれ。2020 年東京藝術大学美術学部建築科卒業。不動産会社／設計事務所勤務を経たのち、個人で活動を開始。癌サバイバー。

SICF25 では、知らない街や暮らしを垣間見る手段のひとつとして古着に着目。服を介した人々との対話や記憶などを探ったプロジェクトを元にしたインスタレーションを展開。モノが持つ「オブジェクト」としての意味以上の何かを可視化するための制作を行う。

開催概要

会期：2025 年 5 月 10 日（土）－ 25 日（日）11:00 － 19:00 会期中無休

会場：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）

入場無料

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

グラフィックデザイン：田部井美奈

Exhibition

SICF25 MARKET 部門 グランプリアーティスト展
りなの村 「めぐる ことば、めぶく はりこ。」

会期：2025 年 5 月 2 日（金）－ 7 日（水）

会場：エントランス（スパイラル 1F）

言葉と張子がつながる「しりとり張子」



スパイラルは、昨年 5 月に開催したアートフェスティバル「SICF25」の MARKET 部門において出展者 70 組の中からグランプリに選ばれたアーティスト、りなの村による個展を開催します。

「張子」は、それぞれの地域に根ざした題材や材料を活かして文化などを表現する郷土玩具の一種です。りなの村は郷土玩具の流れを汲みながらも、居住している場所にとらわれないものづくりをしたいという思いから「自分の郷土＝心が休まる場所」と定義し、誰もが行き交える自由気ままで朗らかな村「りなの村」をつくりだしました。りなの村の作品は、この村に暮らす住人なのです。

審査では「りなの村」のブランド名の発想や、伝統技法とプロダクトデザイン力が融合して生み出された、現代の生活に違和感なく馴染む新しい張子の作品群、展示空間に施された工夫や言葉から伝わる独創的でワクワクさせる世界観と、そのプレゼンテーション力が評価されグランプリの受賞に至りました。

本展では、子どもから大人まで誰もが親しんだことのある言葉遊び「しりとり」をテーマに、言葉と張子がつながる作品を展示。言葉がめぐりめぐって、村に種をまき、ほわりとあたたかな情景が芽吹くことを祈っています。この機会にぜひご取材、ご掲載を検討くださいますよう、よろしくお願いいたします。

■掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

アート事業部 コミュニケーション担当 三田 穂積、宮下 恵梨子

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail: press@spiral.co.jp / web サイト: <http://www.spiral.co.jp>

過去作品



りなの村
《BiBi びびんこ》



りなの村
《やさしいきもち》



りなの村
《豊作折願ガール_稲》

SICF25 審査員コメント

藤原大／DDI 代表・デザイナー、クリエイティブディレクター、美術家

「りなの村」は、主に紙と貝殻の粉でつくられる張子作品。タイトルもわかりやすかった。ブースを訪れるお客さんは、本人がものづくりを説明する前に「なーんとなく」経済と環境を理解しちゃっていた。このエコな作品は、広く日本社会に根付いている伝統文化という分厚い天井を軽々突き破ってなんとグランプリをとった。張子は昔から人の心にすぐ届くスピード感あるユニバーサルなメディアの一つと思う。ノムラさん、今度は海外にも村をつくろう。

白本由佳／アートディレクター、グラフィックデザイナー

張子という郷土玩具をうまく自分独自の新しい「村」へと作り上げている点が秀逸でした。張子たちそれぞれにストーリーがあり、眺めているだけでワクワクする展示となっていました。また、置いて飾るだけでなく壁に取り付けて楽しめる作品もあり、新しい張子の楽しみ方を提案されていたように思います。張子の特徴でもあるやさしい曲線や軽やかさも上手く生かされており、思わず自分の生活の中に連れて帰りたくなるような魅力がありました。



りなの村 | rina no mura

1994 年鹿児島県生まれ。2017 年静岡文化芸術大学デザイン学部卒業。
デザイン事務所勤務を経て、2021 年より張子制作を開始。

「自分の郷土＝心が休まる場所」と自分なりに定義し、誰もが行き交える自由気ままで朗らかな「村」を作る。張子紙に胡粉という昔ながらの技法を踏襲しつつ、現代の技術を合わせた独自の製法で制作。気張り過ぎないちょっとだけ前向きな言葉を添え、心がふっとほぐれるような「村」を目指す。

主な受賞歴に、「GOOD DESIGN AWARD 2020」(2020)、「Doodle 4 Google 2009」部門最優秀賞(2010)など。

【同時開催】SICF25 MARKET 部門 受賞者展

グランプリアーティスト展と同時開催で SICF25 MARKET 部門の受賞者 5 名が作品を展示販売します。

出展者一覧



atelier yamani 準グランプリ

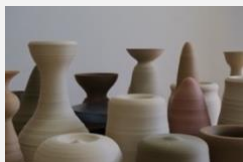
1994 年アメリカフロリダ州生まれ。ブラジルでマクラメアーティストとして活動していた母の影響により 2020 年から創作活動始める。結びの技法であるマクラメをベースに、タペストリーなどのインテリアを制作。「身につけられるアート」をコンセプトに、タペストリーの世界観を小さな耳飾りに表現した装身具シリーズも展開している。



ミヤウチモネ | Mone Miyauchi 白本由佳賞

2000 年東京生まれ。2025 年多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程工芸専攻ガラス研究領域修了。

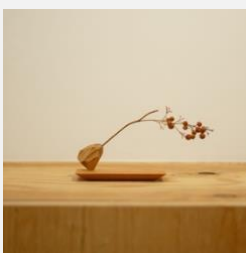
ガラスの特性と自身の表現の調和を探ることをコンセプトに、日常に溶け込むアートピースとプロダクト製品の間のような作品を目指している。またガラスの「やわらかいかたち」を大切に、型を使わない宙吹き技法で制作している。



AMOC PROJECT | En Kayou 鈴木啓太賞

1998 年中国浙江省生まれ。2025 年東京藝術大学大学院デザイン科修了。

周囲に潜む、まだ見出されていない本質的な価値を具象化することをテーマに、プロダクトやオブジェなどの立体作品を制作している。



イシクラカズマ | ISHIKURA KAZUMA 藤原大賞

1978 年西東京生まれ、埼玉育ち。

家具のデザインの仕事をするかたわら、オーダー家具などの製作の際に出る木の端っこを使って小物を作ります。廃材になりかけの材料を見ながら、新しいカタチを考えます。

開催概要

会期：2025 年 5 月 2 日（金）－ 7 日（水）11:00 – 19:00 会期中無休

会場：エントランス（スパイラル 1F）

入場無料

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

グラフィックデザイン：田部井美奈